

殺菌・消毒剤の適正使用の パンフレットデータ作成

本会はこのほど、酪農家に殺菌・消毒剤の適正な使用を呼びかけたパンフレットのデータを作成し、各指定団体に提供した。

● 基準値を超える殺菌・消毒剤検出で大量の生乳廃棄

酪農家の誤った使用方法が原因

平成18年度からポジティブリスト制度が導入され、生乳中に基準値を超えた農薬等の残留がないことを証明するため、酪農乳業界は毎年、生乳の定期的な検査を実施している。

しかし、19年度の検査で1検体から、ポジティブリスト制度違反となる基準値を超えた「塩化ジデシルジメチルアンモニウム」(DDAC)が検出され、長期にわたって大量の生乳を廃棄。21年度もDDACが検出され、19年度と同様の被害が生じた。

基準値を超えた理由としては、DDACを含む殺菌・消毒剤を①搾乳前の乳房乳頭の清拭に使用していた②搾乳器具の消毒後、十分な水洗いをしていなかった③定められた希釈率を遵守していなかった④用途以外の濾過布の消毒に使用していた—など、酪農家が間違った使用を行っていたためと考えられる。

● 生乳混入で製品回収したら使用者に責任

殺菌・消毒剤の説明書も不明確、使用に注意

本会は、酪農生産現場でのDDACなどを含む殺菌・消毒剤の適正な使用方法を呼びかけたパンフレットのデータを作成し、各指定団体に提供した。

その内容は、「殺菌・消毒剤が生乳に混ざると数十億円の損害が生じる可能性」というタイトルで、酪農家の誤った使用方法で殺菌・消毒剤が生乳に混入し、牛乳・乳製品の回収に発展した場合、使用した酪農家の責任で、酪農家が膨大な損害を受けることを強調。19年度と21年度の定期的検査で検出されたDDACによる損害の経緯を説明している。

殺菌・消毒剤の使用説明書には、搾乳前の乳房、乳頭の消毒は避けることや、消毒後は生乳中に薬剤が混入しないようよく洗浄することなどが書かれている。しかし、具体的な洗浄時間などの表現が不明確であり、生乳中に薬剤が混入した場合はあくまで使用

した酪農家の責任となることから、パンフレットではDDAC等を含む代表的な商品名の一覧表を記載し、酪農家に搾乳に係る箇所での使用を避けるよう呼びかけている。

本会では、各指定団体がこのデータを参考にして、地域の実情に合わせたパンフレットを作成し、生乳の安全・安心の取り組みに役立ててほしいと考えている。

**殺菌・消毒剤が生乳に混ざると
数十億円の損害が生じる可能性**

【殺菌・消毒剤が生乳に混ざると数十億円の損害が生じる可能性】—アールシー (C9-10) トランス12 含有殺菌・消毒剤

使用した酪農家の責任

もし、誤使用により、生乳中に成分が混入し、牛乳製品が回収された場合は、酪農・乳製品製造業者の責任で、膨大な損害を受けることになります。

昨年度にも損害が発生

酪農家側では、平成18年にポジティブリスト制度が導入されたことを受け、生乳中への農薬等の残留を監視し続けていたと説明する。19年度、定期検査を実施している。

本会、安全確保を促すための定期的検査を通じて、平成19年度には1検体から生乳中にDDACが検出された。DDACは殺菌・消毒剤の成分で、乳頭・乳房の消毒に使用される。乳頭・乳房の消毒に使用された殺菌・消毒剤が、搾乳器具の消毒に使用されたこと、搾乳器具の消毒、十分な水洗いをしていなかったこと、定められた用途に使用されたこと、などから生乳中にDDACが混入したことが明らかになった。これは全て誤った使用方法である。

使用禁止

CASE 1 乳頭・乳房

CASE 2 搾乳器具

CASE 3 定められた用途以外のもの (濾過布など)

〇〇〇〇生乳販売業者協同組合連合会

DDAC等を含む殺菌・消毒剤の使用説明書には

乳頭・乳房の消毒 (清拭) については

① 殺菌・消毒剤は、乳頭に薬剤が混入しないよう乳頭を十分に洗浄すること。

② 殺菌・消毒剤は、生乳中に薬剤が混入しないよう乳頭を十分に洗浄すること。

搾乳器具の消毒については

③ 搾乳器具は、消毒後、水で十分に洗浄し、生乳中に薬剤が混入しないよう十分に乾燥させること。

「よく洗浄」または「水で十分に洗浄」とありますが、生乳中に薬剤が混入しないようにするためには、どの程度洗浄すればよいのかを明確に記述されています。どの程度洗浄するのかわかりませんが、生乳中に混入する危険性があります。万が一、生乳中に混入した場合は、消費者の責任です。

DDAC等を含む代表的な殺菌・消毒剤の一覧

商品名	製造販売業者	商品名	製造販売業者	商品名	製造販売業者
1 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	14 10000000000	アクリノゲン		
2 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	15 10000000000	アクリノゲン		
3 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	16 10000000000	アクリノゲン		
4 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	17 10000000000	アクリノゲン		
5 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	18 10000000000	アクリノゲン		
6 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	19 10000000000	アクリノゲン		
7 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	20 10000000000	アクリノゲン		
8 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	21 10000000000	アクリノゲン		
9 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	22 10000000000	アクリノゲン		
10 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	23 10000000000	アクリノゲン		
11 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	24 10000000000	アクリノゲン		
12 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	25 10000000000	アクリノゲン		
13 アクリノゲン	アクリノゲン株式会社	26 10000000000	アクリノゲン		

本会主催「殺菌・消毒剤が生乳に混ざると数十億円の損害が生じる可能性」—アールシー (C9-10) トランス12 含有殺菌・消毒剤

殺菌・消毒剤は、乳頭に薬剤が混入しないよう乳頭を十分に洗浄すること。殺菌・消毒剤は、生乳中に薬剤が混入しないよう乳頭を十分に洗浄すること。